

Manual & User Guide



Copyright 1999 - 2024 Environmental Measurement Japan.

本日本語マニュアルは弊社取扱機器メーカーの承諾を受けた上で、日本環境計測株式会社が作成しました。商用目的の範囲における無許可の転載、複製、転用等はご遠慮ください。

Environmental Measurement Japan

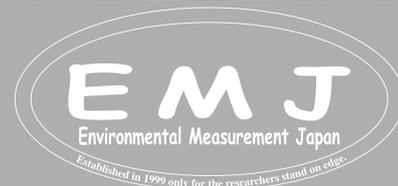
日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844



Specifications: AquaPen Series

Parameters	
E-AP110/C	<ul style="list-style-type: none"> • Ft(暗順応時: $F_t=F_0$) • QY:量子収率(暗順応時: $QY=F_v/F_m$; 光順応時: $QY=F_v'/F_m'$) • OJIP • NPQ(Non-photochemical quenching) • Light curve • Optical density (OD;濁度) at 680 and 720 nm
E-FP110	<ul style="list-style-type: none"> • Ft(暗順応時: $F_t=F_0$) • QY:量子収率(暗順応時: $QY=F_v/F_m$; 光順応時: $QY=F_v'/F_m'$) • OJIP • NPQ(Non-photochemical quenching) • Light curve

LED	
LEDエミッター	E-AP110/C: 赤(630 nm)、青 (455 nm); OD測定用:680nmと720nm E-AP110/P: 青 (455 nm) オプションで色の変更可能
飽和光	10~100 %で調節可能 (最大3,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}) \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$)
アクチニックライト	10~1,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}) \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$ で調節可能
測定光	0~100 %で調節可能 (最大0.09 $\mu\text{mol}(\text{photon}) \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$ per pulse)

Detector	
タイプ	PIN フォトダイオード + バンドパスフィルター
受光波長	665 ~ 750 nm

Data save and communication	
メモリ容量	最大16Mb
インターナルデータロギング	最大149,000 データ
通信	USBケーブル / bluetooth
電池寿命	フル稼働で48時間(使用法によって異なります)/バッテリー残量ゲージ付き

Other	
サンプルホルダー	<ul style="list-style-type: none"> • E-AP110/C: 4ml キュベット(3個) • E-AP110/P: プローブ(プローブ先端を直接サンプルに沈める)
ディスプレイ	グラフィックディスプレイ
操作方法	ボタン2つで操作 (SET、MENUボタン)
サイズ	165 x 65 x 55 mm
重量	290g
使用環境	気温: 0 ~ +55 °C、相対湿度: 0 ~ 95 % (結露なきよう)
保管環境	気温: -10 ~ +60 °C、相対湿度: 0 ~ 95 % (結露なきよう)
防水性能	E-AP/C・E-AP/Pの本体は防水性能なし E-AP/Pに関しましてはプローブ部分のみ水に沈めることが可能
付属品	<ul style="list-style-type: none"> • PAR E-FP 110もしくはE-FP110本体 • 携帯ケース • USBメモリ: USBフォルダ内にマニュアル, Softwareドライバーが入っています。 • USBケーブル: データ通信、充電、常時電源ケーブルとして機能します。

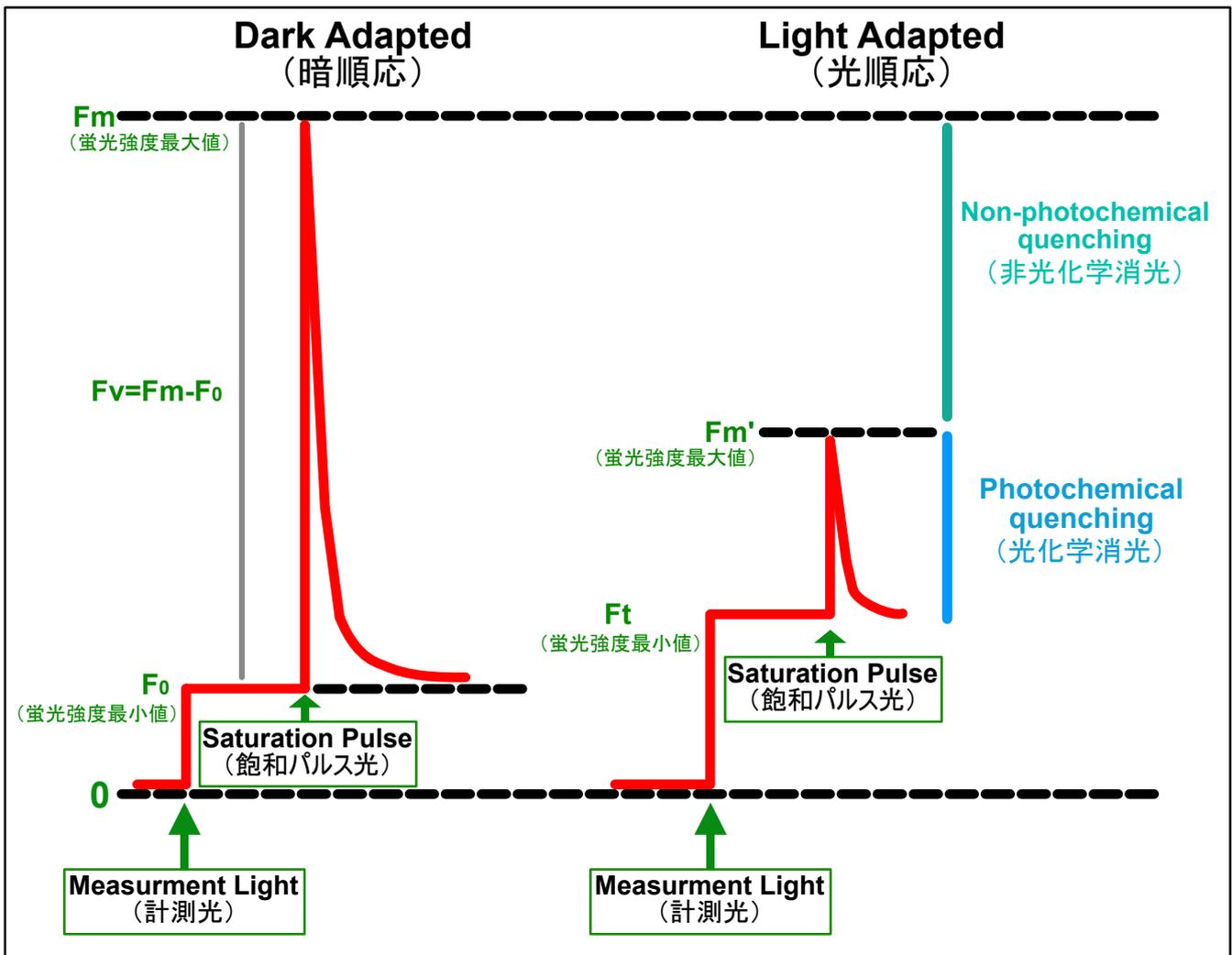
PRINCIPLE OF MEASUREMENT



E-AP110/C



E-AP110/P



E-AP110/C & E-AP110/P Comparison

PAR E-FP110



E-FP110



特徴

キュベットバージョン(懸濁液の測定のためにキュベットを装備)
植物プランクトンやシアノバクテリアの研究に最適

光源波長: ブルー(455 nm) & レッド(630 nm)

パラメーター:

Fo ; Ft ; Fm ; Fm' ; QY; OJIP; NPQ 1,2; LC 1,2,3
OD 680 nm , OD 720nm

*OD 680nm: 散乱; クロロフィル吸光率

*OD 720nm: 細胞密度

クロロフィルレベル0.5 µg Chl/lまで検出可能

特徴

プローブバージョン(プローブを直接刺し込むタイプ)
藻類、水中植物などの研究に最適

LEDはブルー(455nm)LEDエミッターのみを使用。

パラメーター:

Fo ; Ft ; Fm ; Fm' ; QY; OJIP; NPQ 1,2; LC 1,2,3
クロロフィルレベル0.5 µg Chl/lまで検出可能

CARE AND MAINTENANCE

- ・デバイスを絶対に水の中に入れてください。(防水機能のあるMonitoring Pen E-MP 100-A は除く)
- ・デバイスを有機溶剤、強酸、強塩基と接触させないでください。
- ・光学部分は、常に乾燥した状態にしてください。クリーニングが必要な場合は、柔らかいティッシュ等を使用してください(研磨剤など光学部分を傷つけるものは使用しないでください)。

Li-ion battery: リチウムイオン電池

- ・バッテリーを放電状態にしないように注意して下さい。
- ・バッテリーを常にフル充電状態に保たないでください。
- ・保管場所は、室内が高温にならないような場所で保管して下さい。

How to use FluorPen

FluorPenはリチウム電池を使用しています。使用する1日前にPCか、USB (TypeA) ACアダプターで充電して下さい。(本製品にはUSB ACアダプターは付属されておりません。)

FluorPenの操作は本体にあるMENUキーとSETキーのみで行います。

MENUキー

- ・ディスプレイ上の項目をスクロールする役割
- ・電源OFF (1秒長押し)

SETキー

- ・項目選択(選択項目の横にカーソル(>))が表示されます)
- ・電源ON (1秒長押し)

Measurement

本器での蛍光測定には、校正等の面倒な作業は必要はございません。ただし、ユーザーにて必要があれば設定を変えていただく事が可能です。

E-AP110/C: キュベットタイプ

1. 3mlのサンプル液をキュベットに入れキュベットストッパーを被せます。最低でも2mlのサンプル液はキュベットに入れるようにしてください。
* キュベットは毎回同じ向きに入れることが推奨されていますのでキュベットにはマーカで印を入れることをお勧めします。
2. サンプル液を入れたキュベットをスロットに入れ、キュベットカバーを閉め暗処理して下さい。
3. 最低でも10~15分Dark adapted (暗順応)して放置してください。(Fo, QY(Fv/Fm), NPQ, LCを計測するのに必要な工程です。)
4. 暗処理後、沈殿を避けるためにキュベットカバーを抑えながら本器を上下逆さにして元に戻します。往復1秒を5回ほど繰り返します。この時、キュベット内が泡立たないようにゆっくり繰り返してください。
5. デバイスの電源をONにします。(SETボタン長押し)
6. MENUボタンでカーソル(>)を移動させてMeasureに合わせてSETボタンを押します。選択後にMENUボタンで計測したいパラメータまでカーソル(>)を合わせてSETボタンを押すと測定を開始します。
 - ・計測結果の表示: FtやQY(Fv/Fm)は本器ディスプレイに表示されます。OJIP, Light Curve, NPQの演算結果は、PCにデータを取り込まない限り見ることはできません。
 - ・全ての計測結果をご覧になる場合は、必ず本器に保存されたデータをPCへ取込で確認して下さい。

E-AP110/P: プローブタイプ

1. サンプル液を容器に入れ暗処理します。(プローブタイプはユーザにて容器にアルミホイルを巻くなどして暗処理して下さい。)
2. 最低でも10~15分Dark adapted (暗順応)で放置してください。(Fo, QY(Fv/Fm), NPQ, LCを計測するのに必要な工程です。)
3. 本器の電源をONにします。(SETボタン長押し)
4. サンプル液にプローブを差し込みます。(この時プローブの中に気泡が付着しないよう注意して下さい)
5. MENUボタンでカーソル(>)を移動させてMeasureに合わせてSETボタンを押します。選択後にMENUボタンで計測したいパラメータまでカーソル(>)を合わせてSETボタンを押すと測定を開始します。
 - ・計測結果の表示: FtやQY(Fv/Fm)は本器ディスプレイに表示されます。OJIP, Light Curve, NPQの演算結果は、PCにデータを取り込まない限り見ることはできません。
 - ・全ての計測結果をご覧になる場合は、必ず本器に保存されたデータをPCへ取込で確認して下さい。

OD Zero Calibration and Measurement: ゼロ校正・測定 (E-AP110/C)

OD測定にはゼロ校正する必要がありますので必ず下記ステップ通りに校正をしてください。

Zero Calibration: ゼロ校正

1. キュベットを蒸留水とティッシュ等できれいにします。
2. 校正の標準として培養媒体(BBM, BG11 など)もしくは蒸留水をキュベットに入れます。
3. キュベットキャップを被せスロットにセットします。
4. デバイスの電源をONにします。(SETボタン長押し)
5. MENUボタンでカーソル(>)を移動させて、Measureに合わせてSETボタンを押します。選択後にMENUボタンでODを選択してcalibrationにカーソル(>)を合わせSETボタンで確定して校正を開始します。
6. 校正完了後にキュベットを出さずにOD680nmもしくはOD720nmで計測してみてください。適切に校正ができていれば計測結果が0.0000になります。
7. 計測結果が0.0003またはそれ以上になった場合は、もう1度Zero校正をやり直してください。
8. 校正データは本器が電源OFFになるまで保存されます(本器は8分間触らずにいると自動で電源OFFになります)。再度使用する際は必ず計測前に必ずゼロ校正して下さい。

OD Measurement: OD計測は、ゼロ校正を完了させてから開始して下さい。

1. 3mlのサンプル液をキュベットに入れてキュベットストッパーを被せます。最低でも2mlのサンプル液をキュベットに入れてください。
2. サンプル液を入れたキュベットをスロットに入れ、キュベットカバーを閉めて下さい。
3. デバイスの電源をONにします。(SETボタン長押し)
4. MENUボタンでカーソル(>)を移動させてMeasureに合わせてSETボタンを押します。選択後にMENUボタンでOD680nm もしくはOD720nmにカーソル(>)を合わせSETボタンを押して測定を開始します。

Pulse Setting

Flash Pulse

蛍光強度最小値 (F_0, F_i) を計測するために使用します。

設定: 0~100 % の調節可能 (最大 $0.09 \mu\text{mol}(\text{photon}) \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$ per pulse)

Super Pulse

蛍光強度最大値 (F_m, F_m') を計測するために使用します。

設定: 10~100 % の調節可能 (最大 $3,000 \mu\text{mol}(\text{photon}) \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$)

Actinic Pulse

測定光強度を設定するために使用します。

設定: 10~1,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}) \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$ に調節可能

計測パラメーター	使用パルス
Ft	Flash Pulse
QY	Flash Pulse, Super Pulse
OJIP	Super Pulse
NPQ	Flash Pulse, Super Pulse, Actinic Pulse
Light Curve	Flash Pulse, Super Pulse, Actinic Pulse (Actinic Pulse: ユーザーでの設定不可)

デフォルト設定 (PSI社お勧めの設定): 設定はユーザーにて任意で変更して下さい。

Flash pulse	30 %
Super pulse	80 %
Actinic pulse	$300 \mu\text{mol} \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$ (30 %)

デフォルト設定変更時の注意点

- ・Flash pulse, Super pulse を調整する場合、必ず Dark adapted (暗順応) で行ってください。
- ・一度使用したサンプルでも挟む場所を変えて再度パルス調節を行ってください。

Multiple Measurement

Multiple Measurement: 同じパラメータを複数回計測するモード。

Multi type: 計測したいパラメータを選択します。

Multi interval: インターバルの設定

Multi repeats: リポートする回数設定

Multi Average: Multiモードで平均値を計測 (有効なパラメータ: FとLCのみ)

- ・サンプルを準備します。
- ・メニューから Measurement → Multi を選択。
- ・SET ボタンを押し確定し計測開始されます。
- ・計測値は計測が終わる度にディスプレイに表示され全ての計測結果は本器に保存されます。ただし、パラメータが OJIP, NPQ, LC のときは計測結果がディスプレイには表示されません。OJIP, NPQ, LC の場合、PCへデータをダウンロードし計測結果をご覧いただくようお願いいたします。

本器単体またはPC接続の状態での計測している場合

- ・本器単体での計測: 電池消費を軽減するために計測していないときには電源がOFFになり計測時刻になると自動でONを繰り返します。デバイスの"MENU"を手動で切り替えることによって中断されます。
- ・PCへ接続した状態での計測: 計測インターバルに関係なく本器の電源がOFFになることはありません。

OJIP

OJIPとは蛍光パラメーターの頭文字から引用されていて、F₀ (O)、F_m (P)、F_i (S)、J (2ms)、I (30ms) のポイントを計測しているという意味です。O→F₀、J→照射後2ms、I→照射後30ms、P→F_mを指します。
OJIP計測に使用されているパラメーターは以下の通りです。

略称	詳細
Bckg	Background (バックグラウンド)
F ₀	F _{50μs} , 50μsでの蛍光強度
F _j	Jステップでの蛍光強度 (at 2ms)
F _i	iステップでの蛍光強度 (at 30ms)
F _m	蛍光強度最大値
F _v	m-F ₀ (蛍光強度最大値-蛍光強度最小値)
V _j	(F _j -F ₀) / (F _m -F ₀)
V _i	(F _i -F ₀) / (F _m -F ₀)
F _m /F ₀	
F _v /F ₀	
F _v /F _m	
M ₀ or (dV/dt) ₀	M ₀ = TR ₀ / RC - ET ₀ / RC = 4 (F ₃₀₀ - F ₀) / (F _m - F ₀)
Area	蛍光曲線とF _m の間のエリア(バックグラウンドは差し引)
Fix Area	蛍光曲線より下のF _{40μs} とF _{1s} の間のエリア(バックグラウンドは差し引)
S _M	Area / (F _m - F ₀) (multiple turn-over)
S _s	Smallest S _M turn-over (single turn-over)
N	S _M . M ₀ . (1 / V _j) turn-over number QA
Phi_P ₀	1 - (F ₀ / F _m) (or F _v / F _m)
Psi_0	1 - V _j
Phi_E ₀	(1 - (F ₀ / F _m)) . Psi_0
Phi_D ₀	1 - Phi_P ₀ = (F ₀ / F _m)
Phi_P _{av}	Phi_P ₀ (S _M / t _{FM}) t _{FM} = time to reach F _m (in ms)
ABS / RC	M ₀ . (1 / V _j) . (1 / Phi_P ₀)
TR ₀ / RC	M ₀ . (1 / V _j)
ET ₀ / RC	M ₀ . (1 / V _j) . Psi_0
DI ₀ / RC	(ABS / RC) - (TR ₀ / RC)

演算式リファレンス:

R.J. Strasser, A. Srivastava and M. Tsimilli-Michael (2000): The fluorescence transient as a tool to characterize and screen photosynthetic samples. In: Probing Photosynthesis: Mechanism, Regulation and Adaptation (M. Yunus, U. Pathre and P. Mohanty, eds.), Taylor and Francis, UK, Chapter 25, pp 445-483.

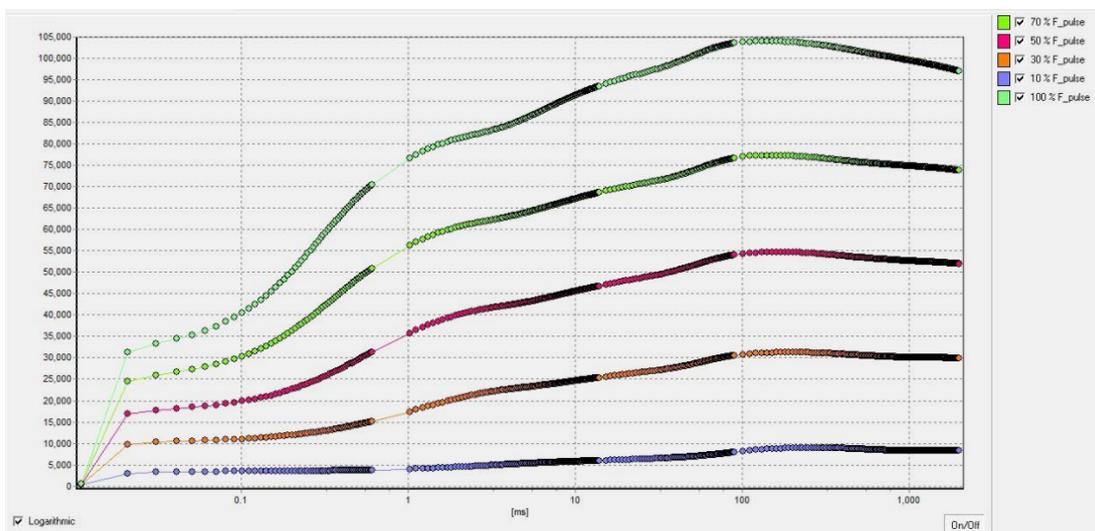


図1. 異なるSuper pulse設定でのOJIP計測

80	
8:42:40 22.1.2019	
OJIP	
Bckg	357
Fo	6405
Fj	10956
Fi	19637
Fm	28220
Fv	21815
Vj	0.209
Vi	0.607
Fm/Fo	4.406
Fv/Fo	3.406
Fv/Fm	0.773
Mo	0.155
Area	10680744
Fix Area	26970048
HACH Art	20565304
Sm	489.605
Ss	1.346
N	363.627
Phi_Po	0.773
Psi_0	0.791
Phi_Eo	0.612
Phi_Do	0.227
Phi_Pav	919.490
Pi_Abs	13.448
ABS/RC	0.961
TRo/RC	0.743
ETo/RC	0.588
DIo/RC	0.218
FLASH	
[nm]	455
[%]	30
[uE]	-NAN
SUPER	
[nm]	455
[%]	20
[uE]	-NAN
...	
20% F_pulse	

図2. Super pulse 20% 設定

NPQ (非光化学消光)

本器でのNPQの測定は、最初にサンプルを暗所でF₀とF_mを測定します。その後、Actinic pulseを使用し、Light adapted (光順応)で連続的にF_m'を測定します。3つのpredefined NPQが選択可能です。

以下の違いはLight exposure time (露光時間)とDark recovery (暗処理からの復帰時間)です。

	Phase	Duration	# of pulses	1st pulse	Pulse interval
NPQ1	Light	60 s	5	7 s	12 s
	Dark recovery	88 s	3	11 s	26 s
NPQ2	Light	200 s	10	10 s	20 s
	Dark recovery	390 s	7	20 s	60 s
NPQ3	Light	200 s	10	11 s	21 s
	Dark recovery	60 s	2	20 s	21 s

Table1. NPQ protocols

略称	詳細
F ₀	蛍光強度最小値 (暗順応の時)
F _m	蛍光強度最大値 (暗順応の時; 初回飽和光での計測値)
F _p	蛍光強度のピーク (fast of Kautsky induction)
F _m _Ln, Lss, D, Dn ¹	蛍光強度最大値
QYmax ²	PSIIでのF _v /F _m
QY_Ln, Lss, D, Dn ^{1,3}	PSIIでの有効量子収率
NPQ_Ln, Lss, D, Dn ^{1,4}	非光化学消光
Qp_Ln, Lss, D, Dn ^{1,5}	光化学消光係数

1 L: Light adapted (光順応) parameters; D: アクチニック消灯後にパルスを照射した時の反応値; n: 光順応の回数; ss: steady state (定常状態)

2 $(F_m - F_0) / F_m$

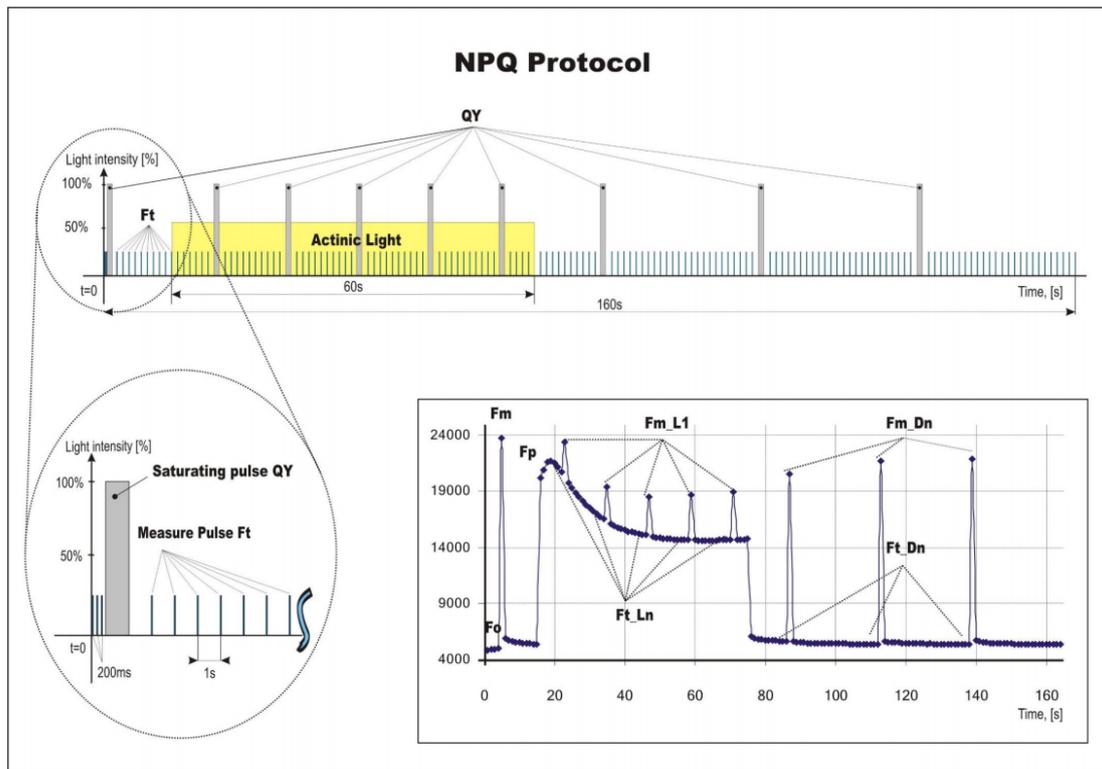
3 $(F_m_Ln - F_t_Ln) / F_m_Ln$

4 $(F_m - F_m_Ln) / F_m_Ln$ or of corresponding ss, Dn or Dss parameters

5 $(F_m_Ln - F_t_Ln) / (F_m_Ln - F_0_Ln)$; F₀_Ln: F₀ / ((F_m - F₀) / F_m + F₀ / F_m_Ln).

リファレンス:

Oxborough K., Baker N.R. (1997): Resolving chlorophyll a fluorescence images of photosynthetic efficiency into photochemical and non-photochemical components: calculation of qP and Fv'/Fm' without measuring F₀'. Photosynthesis Research 54: 135-142



Light Curve (LC)

Light Curve: 光強度と光合成速度の関係曲線

計測方法はシンプルでパルス変調でサンプルに当てる光を段階的に強くして計測します。

本器では3つのLCが選択可能です。

	# of phases	Phase duration	Light intensities [$\mu\text{mol}\cdot\text{m}^{-2}\cdot\text{s}^{-1}$]
LC1	6	60s	10; 20; 50; 100; 300; 500
LC2	5	30s	100; 200; 300; 500; 1000
LC3	7	60s	10; 20; 50; 100; 300; 500; 1000

略称 詳細

F_0 蛍光強度最小値 (Dark adapted (暗順応の時))

F_m 蛍光強度最大値 (Dark adapted (暗順応の時))

F_m_Ln 蛍光強度最大値 (Light adapted (光順応の時))

F_t_Ln 光順応時の瞬間蛍光

$QYmax$ PSIIでの F_v/F_m (Dark adapted (暗順応の時))

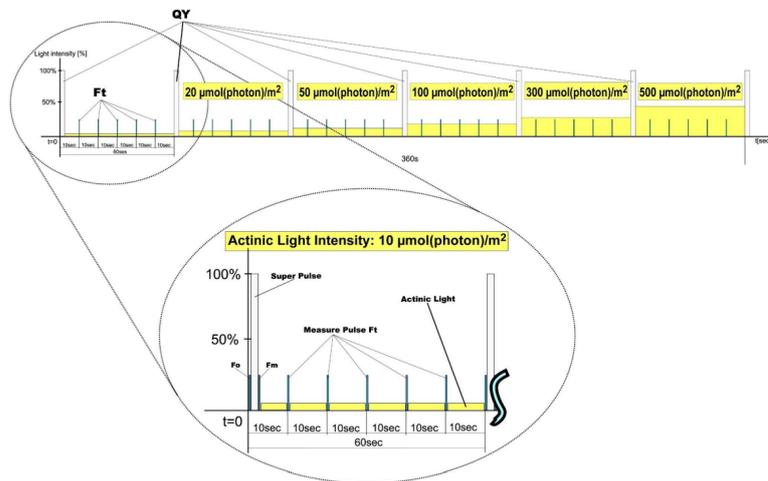
QY_Ln^{**} 瞬間的に光で誘導された PSII 量子収率

‡ n: 光順応の回数

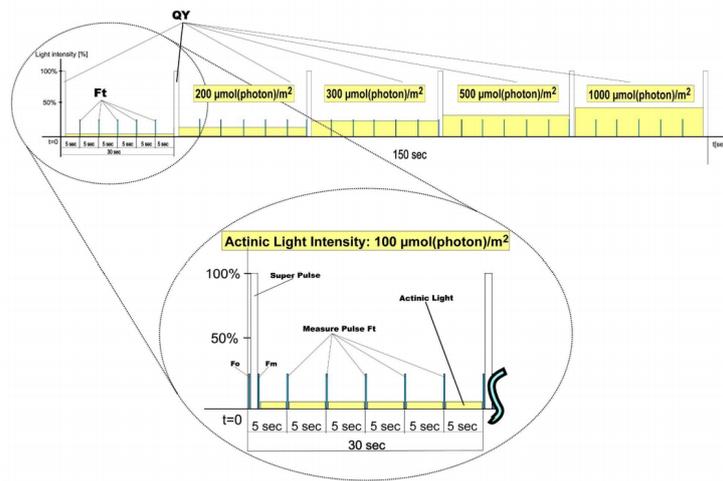
* $(F_m - F_0) / F_m$

** $(F_m_LX - F_t_LX) / F_m_LX$

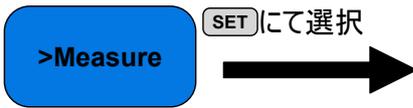
Light Curve 1 Protocol



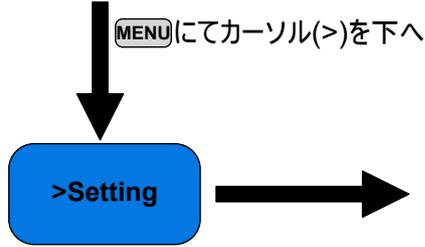
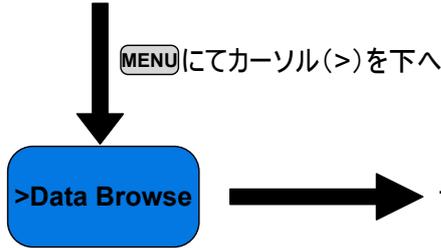
Light Curve 2 Protocol



MENUにてカーソル(>)を希望のパラメータに合わせて下さい。
希望のパラメータにカーソルを合わせ **SET** を押すと測定が開始されます。
メインメニューに戻る場合は **MENU**にてカーソル(>)をreturnに合わせ **SET** を押します。

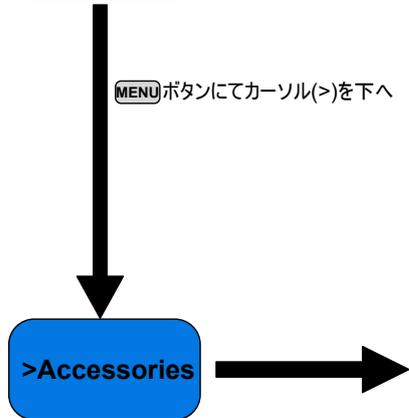


- > Ft
- > QY(Fv/Fm)
- OD(E-AP110/Cのみ選択可能)
- OJIP
- NPQ1
- NPQ2
-
- Multi
- Return

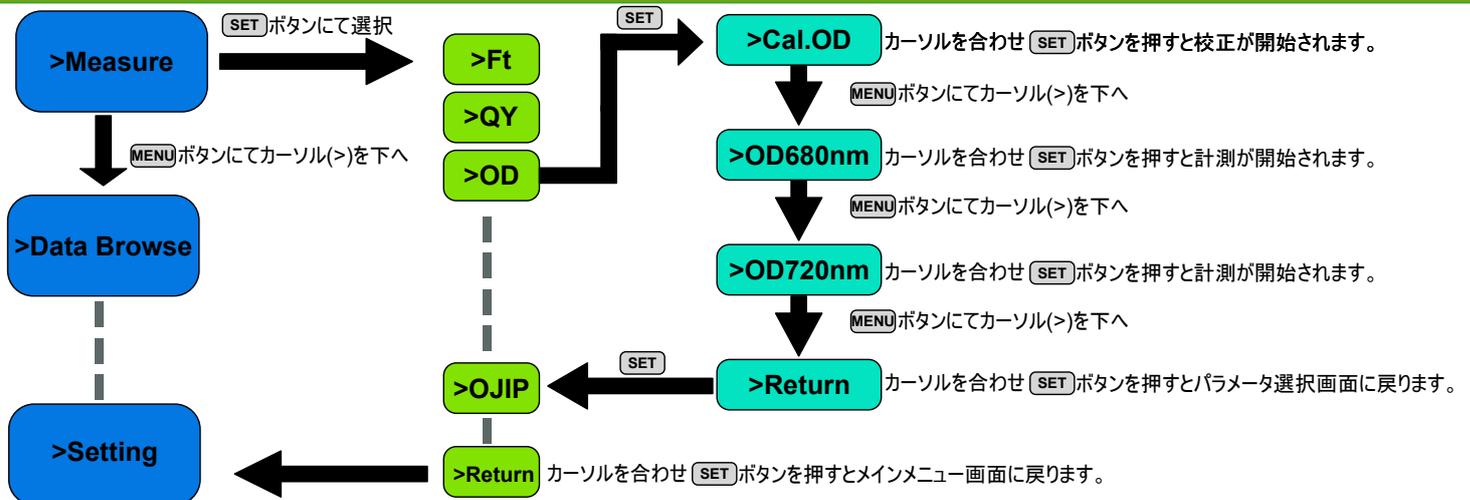


SET ボタンにて各種設定値を変更。
MENU ボタンにて戻る。

- >Measur. Color** (E-AP110/Cのみで使用: MENUボタンで青(455nm)または赤(630nm)を選びSETで確定。)
- Flash pulse (任意で10~100%設定)
 - Super pulse (任意で10~100%設定)
 - Actinic pulse (任意で10~1000µE設定)
 - Averag. Count (FtとLCのみ有効; 複数回計測して平均値を計測します。)
 - Average delay (FtとLCのみ有効; Averag. Countを>1で使用可能。Averag. Countのインターバルを1~10秒で設定可能)
 - Multi
 - Multi type : Ft, QY, OJIP, NPQ, LCから選択
 - Mult interval: インターバルの設定 (1~720minから設定可能)
 - Mult repeats: 測定回数設定
 - Use Averaging: 平均値の測定 (FtもしくはLCのみ有効)
 - Return: Settingメニューに戻る
 - Sound (YESもしくはNOを選択)
 - Date & Time (Year, Month, Day, Hours, Minutesを個別に設定 **SET** ボタンにて変更 **MENU** ボタンにて戻る。)
 - LCD Contrast (ディスプレイの濃さを5~100%で設定)
 - Return (メインメニューへ戻る)



E-AP110/C本体でのOD選択方法



Bluetooth接続

確認事項

- ・Bluetooth機能付きのPCをご準備ください
- ・BluetoothがPCと本器で起動していることを確認して下さい。

本器でのBluetooth設定

- ・本器のスイッチをONにして下さい (SETボタンを1秒間押す)。
- ・メインメニューからMENUボタンでAccessoriesへ移動しBluetoothをONにします。

PCでのBluetooth設定

- ・PCにより設定方法が異なる為ユーザーにて設定して下さい。

Software インストール

1. 購入時に付属するUSBメモリーに必要なファイルが全て入っています。まずUSBをPCに差し込みます。ファイルが3つ表示されます。SoftwareファイルをPCデスクトップにコピー&ペーストしてください。

名前	更新日時	種類	サ
Software	2018/04/03 9:50	ファイル フォルダー	
USB Driver	2018/04/03 9:43	ファイル フォルダー	
User Guides	2018/06/14 9:27	ファイル フォルダー	

2. Software中にFluorPenとSN (シリアルナンバー)があります。FluorPenファイルの中にFluorPenソフトがありSNには個体識別番号が入っています。先程デスクトップにsoftwareファイルをコピーした中にSNファイルだけがなぜかコピーされない事がありますのでこちらもデスクトップにコピーしておきましょう。この作業が終わりましたらUSBは抜いて頂いて構いません。

名前	更新日時	種類	サイズ
FluorPen	2018/04/03 9:50	ファイル フォルダー	
SN	2018/07/02 9:00	テキストドキュメント	1 KB

3. ここからはデスクトップにコピーしたファイルでの操作になります。FluorPenファイルを開き「葉っぱマーク」のアイコン(アプリケーション)をクリックして下さい。クリックすると本体設定やデータ取り込みができる画面になります。

名前	更新日時	種類	サイズ
config	2020/08/06 10:02	ファイル フォルダー	
Image	2020/08/06 10:02	ファイル フォルダー	
protocols	2020/08/06 10:02	ファイル フォルダー	
FluorPen	2018/03/26 13:05	アプリケーション	2,602 KB

4. アプリケーション画面です。この時、本体はPCとはつながっていない状態でソフトウェアと本体の認識確認ができておりません。つまり操作できない状態です。本器をPCに接続しRegister作業を行います。PCに接続する際、USBケーブルまたはBluetoothでの接続が可能です。USBケーブルの使い方は皆さまご存じだと思いますので、このマニュアルでは省略致します。



5. 本器をPCへ認識させるためRegister作業を行います。本器をPCに繋げたらHelpを選択しRegisterを選択します。SN(シリアル番号)を入力します(コピペ可能)。

記載例:

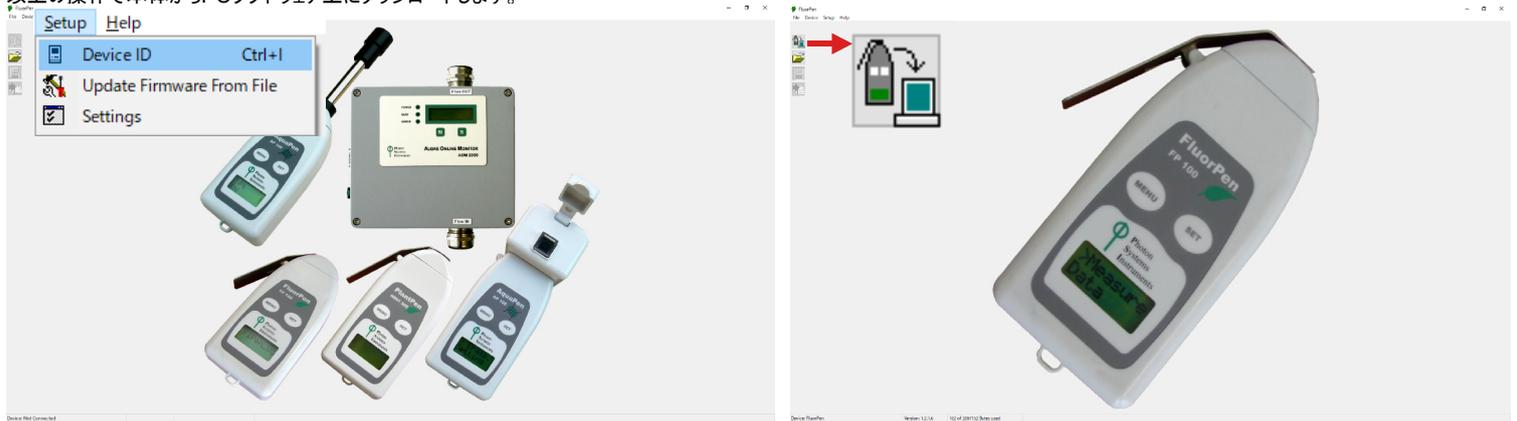
Serial Number: 2XX1X75X-0936XX1X-44XXX490-7522XX3X

Serial Numberを入力後にOKをクリックしインストールは完了です。

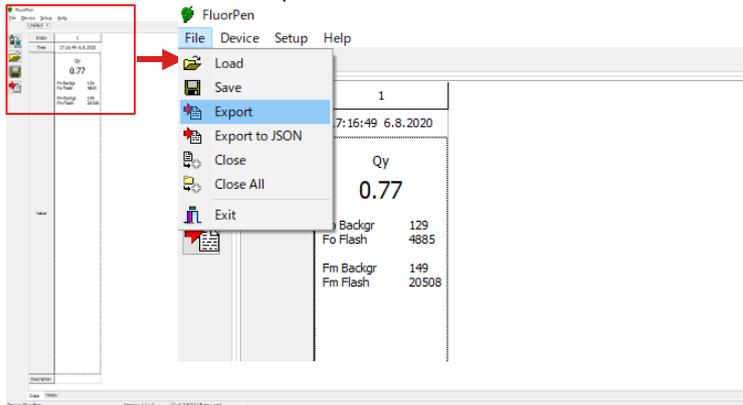


データ移行

1. 計測完了後に本体をUSBケーブルまたはBluetoothでPCに接続します。Setup→DeviceIDで接続を確認し、赤い矢印のアイコンをクリックします。以上の操作で本体からPCソフトウェア上にダウンロードします。



2. ダウンロードが終わると自動的に計測結果画面に切り替わります。この段階ではPC上にはまだ保存できていません。EXPORT機能を使いダウンロードします。画面上部のメニューでFile → Export



3. デスクトップにエクスポートされたファイルはテキスト形式で保存されます。テキスト形式のままでは不便ですので、ExcelにドラッグしてExcelシートで使用することをお勧めします。

Qy01 - メモ帳
 ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
 FluorPen ASCII Export File

 File Name: Untitled - 1

 time id Fo Backgr Fo Flash Fm Backgr Fm Flash Qy description
 17:16:49 6.8.2020 Qy 129 4885 149 20508 0.77



メモ帳ファイルをExcelにドラッグするとExcelでデータ観覧可能

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	FluorPen ASCII Export File								
2	-----								
3	File Name: Untitled - 2								
4	-----								
5	time	id	Fo Backgr	Fo Flash	Fm Backgr	Fm Flash	Qy	description	
6	21:36:59	12.3.2000	Qy	3500	3523	3266	3303	0.38	
7	21:37:03	12.3.2000	Qy	2754	2780	2531	2561	0.13	
8	21:37:21	12.3.2000	Qy	1894	5702	1934	18135	0.76	
9	21:37:30	12.3.2000	Qy	1714	7148	1734	16380	0.63	
10	14:31:55	6.8.2020	Qy	547	559	501	554	0.77	
11	14:32:21	6.8.2020	Qy	149	5294	169	18245	0.72	
12	14:32:40	6.8.2020	Qy	149	5184	169	18833	0.73	
13	14:38:09	6.8.2020	Qy	-1	-1	-1	-1	0	
14	14:39:19	6.8.2020	Qy	-1	-1	-1	-1	0	
15	14:46:17	6.8.2020	Qy	280	2023	328	6910	0.74	
16	14:50:23	6.8.2020	Qy	248	2189	284	7756	0.74	



Environmental Measurement Japan
 日本環境計測株式会社
 〒811-0215
 福岡県高美台二丁目52番42号
 TEL:092-608-6412
 FAX:092-985-7844



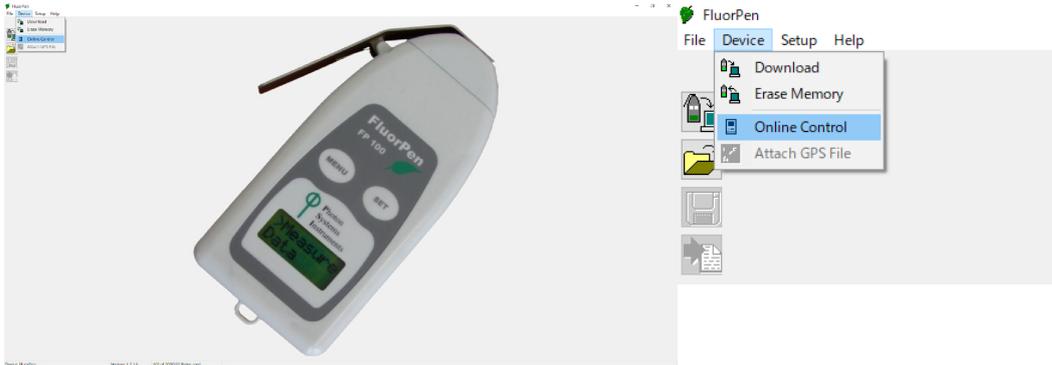
PCでの設定

本器はボタンがMENUとSETボタンの2つしかない為操作は簡単ですがPCで設定をした方が早い事もあります。

1. ソフトウェアのインストールがすべて完了したのを前提として説明していきます。ソフトウェアのインストールが完了していない場合は必ずインストールをして作業して下さい。本器をPCに接続しFluorPenファイル内の葉っぱのアイコン(アプリケーション)をクリックして下さい。クリックするとこの画面に変わります。Setupを選択しDevice IDを選択します。



2. Device ID選択後にこの画面に切り替わります。選択するとソフトウェア上で本器を認識し設定可能な状態になります。設定可能な状態になりましたら、この画面でDevice→Online Controlを選択します。



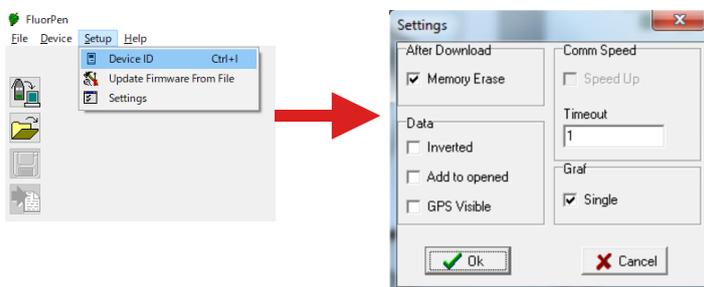
3. Online Controlを選択すると右下に小さな画面が出てきます。この画面で各種設定が可能です。このウィンドウは動かせるので見やすい場所に移動させてください。各種設定は次のページで説明します。



Online Controlはこの様に下にタブがあり設定したいタブを選択すると各種設定が可能になります。

その他の設定

Setup→Settingを選択するとSetting画面が開きます。



After Download: チェックマークを入れると、データをPCへ取り込むと本器データを消します。

Data: ・Inverted:この機能はメーカーもいまいち解ってない機能でチェックマークを入れると、極性が反転します。(計測結果に×-1するみたいです。)

・Add to opened:過去のデータを現在のデータに加えます。

・GPS Visible:過去のバージョンE-FP100シリーズのみ使用可能。

Graf: チェックマークを入れると、すべての測定データが1つのグラフにまとめて表示されます。つまり、新しい測定値がそれぞれ追加されていくという事です。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県高美台二丁目52番42号

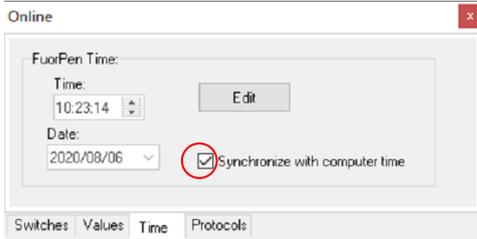
TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844

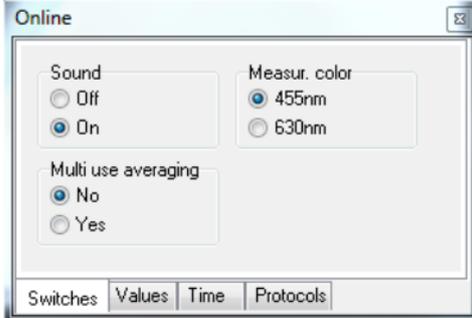


PCでの各種設定

Time 時計の設定はPCとシンクロさせるためにSynchronize with computer timeにチェックを入れてEditを押せば完了です。

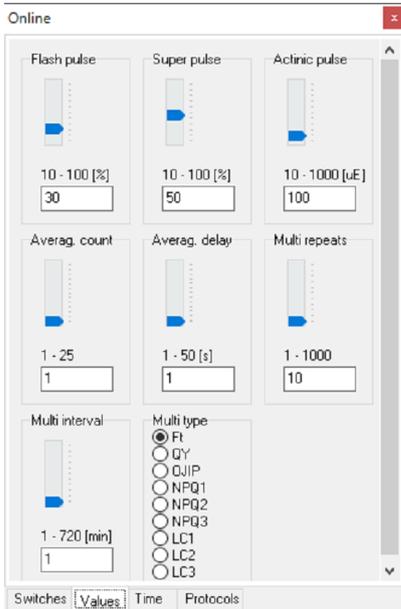


Switches Sound、Multi use averagingの指定が可能です。



- Sound On/Off (ボタン音のOn/Off)
- Multi use averaging: 指定したパラメータでインターバルを決め、繰り返し測定できるモードのOn/off
手動での測定がしたい場合はNoのままにしてください。
Multi use averagingをYesにした場合以下のValuesタブにて設定の変更をします。
- Measur.color: E-AP110/Cのみで使用可能。青(455nm)または赤(630nm)

Values Multi use averaging では2タイプの設定が可能です。(この設定はPCで作業する方が時短できます。)



1. Multi repeats & Multi Interval:

全てのプロトコル(計測パラメータ)に対応しています。
計測の繰り返し回数と、インターバルを設定します。
設定箇所はMulti repeatsとMulti Intervalです。この時Average.countとdelayは1のままにしておいてください。

2. Average count & Average delay:

FTとLCのみ有効な指定です。また、暗処理下での計測にはお奨めできないモードです。
上記のMulti repeats & Multi Interval設定が前提で、平均値を出していくモードです。

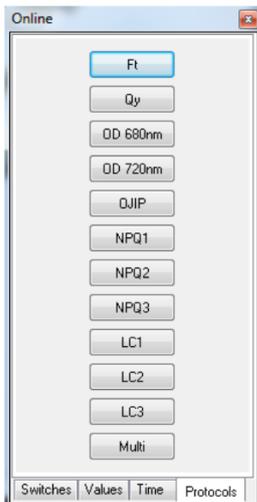
例えば設定内容が下記であれば1分毎の計測結果が10個記録されます。そして各結果は1秒間隔で10回計測した値の平均値です。

- Multi interval 1 min
- Multi repeats 10
- Average count 10
- average delay 1 s

注意: Multi typeでプロトコルの設定を忘れないようにお願いします。

全ての設定が終わりましたら本体のMeasurementを選択し、プロトコルの中のMultiを選択して計測してください。
間違えてvalueで設定したプロトコル、例えばQYを選択するとMulti use averagingが機能しませんので注意して下さい。

Protocols パラメーターを設定選択。(ODはE-AP110/Cのみ選択可能)



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215
福岡県高美台二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844



OJIP、NPQ、LCデータ観覧

OJIP、NPQ、LCのデータは演算値なので本器ディスプレイでは観覧できません。データをPCにダウンロードして観覧します。

Device→Downloadを選択するとデータ表が表示されます。

① File name
② Time of experiment
③ Measured parameter
④ Save experiment
⑤ Measured and calculated values
⑥ Space for written notes
⑦ Switch to graphic visualization of the experiment
⑧ Experiment description

Index	1	2	3	4	5	6
Time	16:33:51 18.4.2018	17:33:56 18.4.2018	18:33:50 18.4.2018	19:01:05 18.4.2018	19:33:50 18.4.2018	20:01:00 18.4.2018
	NPQ1-455	NPQ1-455	NPQ1-455	OJIP-455	NPQ1-455	OJIP-455
Fo	2601	2795	2861	25813	2634	390
Fm	4617	4941	5559	6795	7315	6469
Fp	3739	3666	4357	10794	6242	11736
Fm_L1	4096	Fm_L1 4356	Fm_L1 4812	Fm_L1 13687	Fm_L1 4909	Fm_L1 15670
Fm_L2	3902	Fm_L2 4129	Fm_L2 4422	Fm_L2 14825	Fm_L2 4259	Fm_L2 17653
Fm_L3	3772	Fm_L3 3999	Fm_L3 4291	Fv 8030	Fm_L3 4031	Fv 11184
Fm_L4	3706	Fm_L4 3967	Fm_L4 4226	Vj 0.498	Fm_L4 4031	Vj 0.471
Fm_Lss	3641	Fm_Lss 3902	Fm_Lss 4161	Vi 0.858	Fm_Lss 4162	Vi 0.823
NPQ_L1	0.13	NPQ_L1 0.13	NPQ_L1 0.16	Fm/Fo 2.182	NPQ_L1 0.49	Fm/Fo 2.729
NPQ_L2	0.18	NPQ_L2 0.20	NPQ_L2 0.26	Fv/Fo 1.182	NPQ_L2 0.72	Fv/Fo 1.729
NPQ_L3	0.22	NPQ_L3 0.24	NPQ_L3 0.30	Fv/Fm 0.542	NPQ_L3 0.81	Fv/Fm 0.634
NPQ_L4	0.25	NPQ_L4 0.25	NPQ_L4 0.32	Mo 1.166	NPQ_L4 0.81	Mo 1.023
NPQ_Lss	0.27	NPQ_Lss 0.27	NPQ_Lss 0.34	Area 1560378	NPQ_Lss 0.76	Area 3055072
Qp_L1	0.39	Qp_L1 0.37	Qp_L1 0.36	Fix Area 14353626	Qp_L1 0.23	Fix Area 17251660
Qp_L2	0.44	Qp_L2 0.42	Qp_L2 0.40	Sm 194.319	Qp_L2 0.27	Sm 273.165
Qp_L3	0.42	Qp_L3 0.42	Qp_L3 0.38	Ss 0.427	Qp_L3 0.29	Ss 0.460
Qp_L4	0.41	Qp_L4 0.45	Qp_L4 0.41	N 455.013	Qp_L4 0.29	N 593.525
Qp_Lss	0.45	Qp_Lss 0.48	Qp_Lss 0.48	Phi_Po 0.542	Qp_Lss 0.51	Phi_Po 0.634
Rfd	0.21	Rfd 0.21	Rfd 0.25	Phi_o 0.502	Rfd 0.78	Phi_o 0.529
Fm_D1	4422	Fm_D1 4714	Fm_D1 5202	Phi_Eo 0.272	Fm_D1 6502	Phi_Eo 0.335
Fm_D2	4454	Fm_D2 4780	Fm_D2 5429	Phi_Do 0.458	Fm_D2 7055	Phi_Do 0.366
Fm_D3	4487	Fm_D3 4779	Fm_D3 5429	Phi_Pav 942.951	Fm_D3 7153	Phi_Pav 952.877
NPQ_D1	0.04	NPQ_D1 0.05	NPQ_D1 0.07	Pl_Abs 0.276	NPQ_D1 0.13	Pl_Abs 0.566
NPQ_D2	0.04	NPQ_D2 0.03	NPQ_D2 0.02	ABS/RC 4.323	NPQ_D2 0.04	ABS/RC 3.430
NPQ_D3	0.03	NPQ_D3 0.03	NPQ_D3 0.02	TRo/RC 2.342	NPQ_D3 0.02	TRo/RC 2.173
Qp_D1	0.98	Qp_D1 0.96	Qp_D1 0.91	ETo/RC 1.175	Qp_D1 0.87	ETo/RC 1.150
...

- ① ファイル名
- ② 計測された日時
- ③ パラメーター
- ④ データ保存
- ⑤ 計測データ
- ⑥ ユーザーノート
- ⑦ グラフへ切り替え
- ⑧ サンプル名 (例: Arabidopsis)

グラフへ切り替える場合は⑦をクリックして下さい。

① Choose logarithmic or non-logarithmic graph form
② Selection of data corresponds to their description

- ① 対数での表示
- ② 観覧したいデータ選択

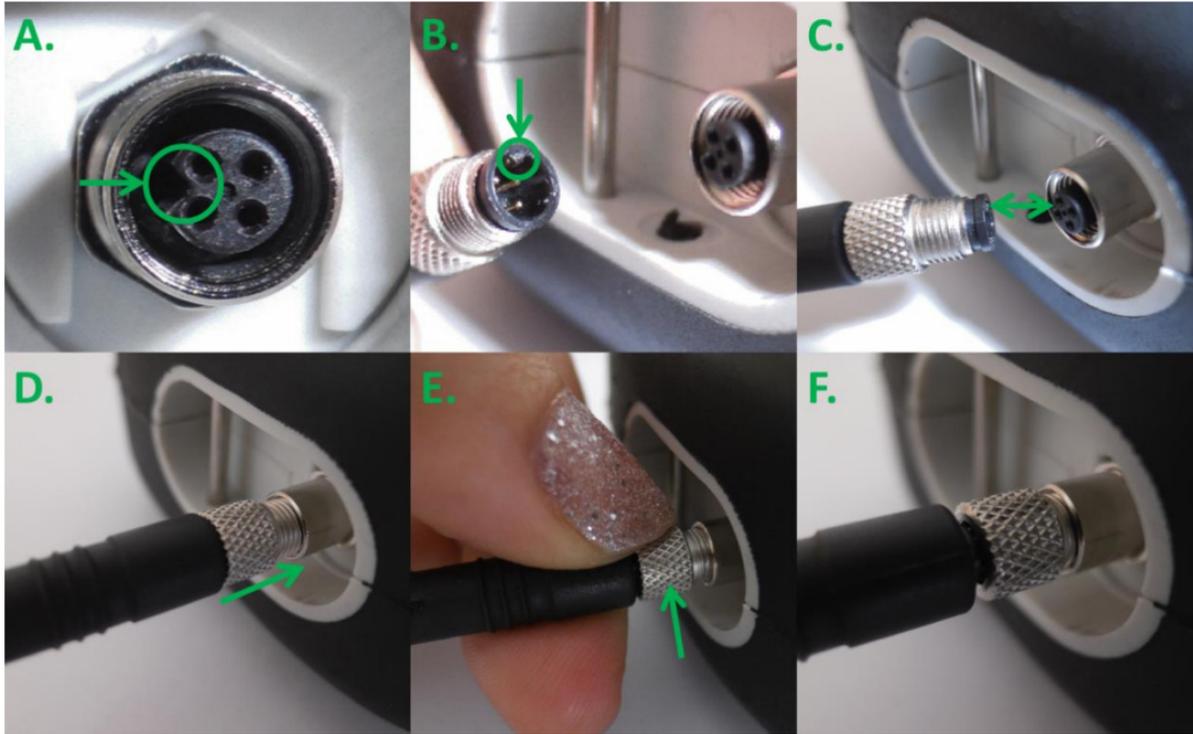


Environmental Measurement Japan
日本環境計測株式会社
〒811-0215
福岡県高美台二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844



Battery Charge / Connecting to PC: 充電/PC接続

このデバイスで一番トラブルになりやすいのが、充電時やPC接続時です。USBケーブルのデバイスに接続するコネクタを破損させてしまう方が多くいらっしゃいます。必ずコネクタの形状とデバイス側の形状を合わせて接続するようにして下さい。



付属のUSBケーブルを使用して下さい。

A. 本体側のメスコネクタの形状を確認して下さい。

B. USBケーブルのオスコネクタの形状を確認して下さい。

C. オスメスの切り欠きを合わせます(ケーブル側を回すと切り欠きにはまるのが感触で分かります)。

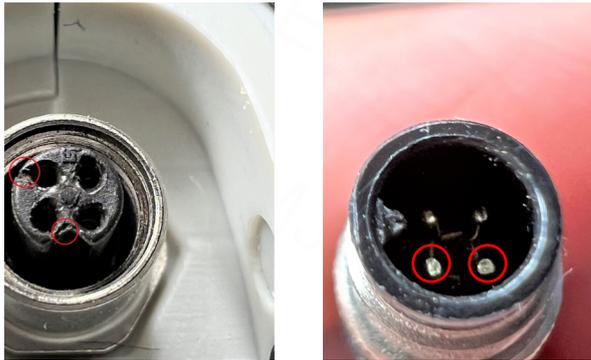
D. 切り欠きが合ったら押し込んで接続します。

(切り欠きが合っていない状態で無理に差し込むと破損に繋がります。破損した場合の保証は出来ません。)

E. 押し込んだらネジを回します。

F. この状態で正常に充電ができる状態です。

破損例



無理に押し込んでしまいオスメスコネクタの部品にダメージがあります。ひどい場合はコネクタピンが折れたり、折れたものがデバイスのメス側に入り込んでしまいメーカーへ送り返すことになったり、修理不能になる可能性もございます。

*破損してしまうとUSBケーブルを新たにご購入、修理、修理不能な状況になってしまいますので取り扱いは丁寧をお願い致します。